

銚子ジオパーク市民の会 ニュース



第84号

2018年6月28日 発行
発行責任者 工藤 忠男
編集責任者 藤身 隆雄
TEL 0479 24 2225
<http://choshi-geopark.com/>

平成30年度

銚子ジオパーク推進協議会総会報告

5月22日(火)に標記
総会が銚子市青少年文化
会館第一会議室で開催さ
れました。34構成団体の
半数以上が出席し、多数
の来賓と傍聴人も同席す
る盛況な総会でした。

推進協議会会長越川信
一市長、顧問信田光保千
葉県議会議員の挨拶の後、
平成29年度の事業報告、
収支決算報告・監査報告、
平成30年度事業計画案、
收支予算案及び、新名
称「社会教育課文化財・
ジオパーク室」に伴う規
約改定案が審議され、事
務局提案通りに承認可決
されました。

平成30年度の活動計
画の中で特徴的なのは、
ジオパーク活動における
目標・コンセプト等の共
有として、①知る育てる
(教育普及)、②まもる
(保護・保全)、③いかす
(平成30年度は、これら
等があります。

期目標を掲げた」とです。
短期目標の中には
「(傍聴・小玉健次郎)
2016年度の再認定審査
で指摘された10項目の
課題が列挙されており、
課題の解決が必須と認識
されています。例として、
ジオストーリーの構築、
それを伝える書籍の作成、
防災教育の展開、ジオサ
イトの整理、シンポジウ
ムの開催、保護保全のあ
り方を市民参加で協議す
る場の創設、可視化の推
進、観光協会ホームページ
での紹介、看板や広告
物の整備、民間からの支
援を受ける体制づくり、
等があります。

平成30年度は、これら
の2m位の高さにまで盛
に敬愛の念を抱き、さら
の季節だね、「つゆ」
が使われており、

5月22日(火)に標記
(地域振興ツーリズム)、
④伝える(情報発信)、⑤
つたえる(ネットワーク)
の5項目にわたりて短
期目標(2020年再認定審
査までの目標)と中・長
期目標を掲げた」とです。

行されました。(傍聴・小玉健次郎)
更に余山ではありません
でない「イボキサゴ」
(今でも東京湾で採れる)
という小さな巻貝が大量
にあり、食べるというよ
り塩分とダシ取りにスー
プとして利用していたら
しい。復元集落の堅穴式
住居のかまど跡を見なが
ら「イボキサゴスープに
山菜、イノシシ肉の入っ
た縄文鍋料理は美味しい
に心が引き込まれて行く。
どうな」と、にんまり
見事に保存、展示され
てしまう。

◆熊　ストップ、そこか
ら先は知ってるぜ。「五
月雨(さみだれ)をあつめ
て早し最上川」だろう。
◇隠居　パチパチパチバ
チ。
江戸時代の日本歳時記
(1687 貞享4年)に
「これを梅雨(つゆ)と名
づく」とある。
こうしてみると、千年位
前には「五月雨(さみだ
れ)」が使われており、

縄文の森へ

藤本京子

加曾利貝塚は初めての
私は、私達の町の栗島台、
余山貝塚の延長線だろう
と予想していたが、クヌ
ギ、コナラ、クリ、シイ
など縄文時代の植生を再
現した森と草原に足を踏
み入れると、縄文の世界
に心が引き込まれて行く。

た貝塚。「縄文人のゴミ捨
て場」以上の意味がある
ようだ。

ドーナツ型又は馬蹄形
の2m位の高さにまで盛
に敬愛の念を抱き、さら
の季節だね、「つゆ」
が使われており、

◆熊　うつとうしい梅雨
自然の恵みを上手に利
用した狩猟採集中心の持
続可能な暮らしを約2千

梅雨を考える

宮内秀

江戸時代の日本歳時記
(1687 貞享4年)に
「これを梅雨(つゆ)と名
づく」とある。

こうしてみると、千年位
前には「五月雨(さみだ
れ)」が使われており、

